

No.	所属	委員名	該当資料	御意見・御助言	スポーツ課からの回答
1	株式会社スポーツ文化代表取締役	小暮 勇男	議題1	38ページ「⑤大型商業～開催」について、「体験イベント」⇒「スポーツ体験イベント」として「スポーツ」にこだわった表現の方が良いのでは？ ※①～④は体づくりやスポーツ教室の開催などの表現がされているので。	御指摘いただいたとおり、「スポーツ体験イベント」に修正いたします。
2	株式会社スポーツ文化代表取締役	小暮 勇男	議題2	消費税も上がったので、考慮があってもよいのではないかと思いました。	補助金の増額については、財政面での調整も必要となることから、現段階での回答は控えさせていただきますが、交付団体の活動状況等を鑑みながら検討していきたいと考えております。
3	一般社団法人柏市スポーツ協会 理事長	井坂 公俊	議題1	<p>「基本施策3 感動を分かち合う支えるスポーツの充実 (3)スポーツ指導者の育成」について、具体策の記載がないようなので、2案を提案します。</p> <p><u>A案 「スポーツ障害予防ハンドブック」の作成（仮称）</u> この案件は、柏市としてこれまでに2冊作成しています。約35年前と約20年前、私も「柏市スポーツ障害予防委員会」の一員として2度作成にかかりました。当時は大変スポーツが盛んな時期で小・中・高校生の多くが、スポーツ障害（特に、野球肘、テニス肘、膝、アキレス腱、ねんざ等）に悩み、苦しみ、その対応に追われていました。そのハンドブックは大学教授の監修を受け数百冊作成し、柏市内の小・中・高校、体協各競技団体、スポーツ少年団等々に配布し、指導者から好評を博しました。多くの生徒たちも部活等で活用しました。</p> <p>それから約20年が過ぎ、スポーツ医学や指導法の目覚ましい発展、体育関係出身の教職員が増加している昨今、再度スポーツ指導の原点に戻り、新たにドーピング、サプリメント、貧血対策、体罰や暴言、パワハラ、セクハラなどを付加し、改めて再確認の意味でも柏市独自の仮称「スポーツ障害予防ハンドブック」の作成・発刊を試みてはいかがでしょうか。</p> <p><u>B案 スポーツ指導者講習会・講演会の開催</u> 柏市スポーツ課と柏市スポーツ協会で開催することを提案します。 年間1～2回の講習会・講演会を開催し、指導者の指導力向上や育成を図ってはどうでしょうか。柏市のホームタウンチームの活用がベストと考えます。 現在の柏市スポーツ協会では、組織も事務局も充実しています。各種事業や講演会等々を前向きに考えているので、柏市スポーツ課が予算化していただければ開催可能だと思います。</p>	<p>「スポーツ指導者の育成」の項目について、具体的な御提案をいただきありがとうございます。</p> <p>この項目の具体的な事業内容としては、競技に関する専門的知識だけでなく、スポーツ医・科学や救急救命など広範にわたる講習の実施を考えております。また、こうした内容の発信については、紙媒体以外にもホームページやSNSなど複数の媒体を活用して効果的に進めてまいります。</p> <p>なお、実施にあたっては、柏市スポーツ協会をはじめとした関係団体の皆様の御協力が必須となりますので、継続的に協議させていただきたいと考えております。</p>
4	一般社団法人柏市スポーツ協会 理事長	井坂 公俊	議題2	<p>柏市スポーツ協会への補助金の見直しが必要です。</p> <p>所属する34競技団体の主催事業に年間延べ参加人数が約8万人に上ります。各競技団体は、少ない予算で事業を企画・運営し、無報酬で市民のために献身的に取り組んでいます。</p> <p>また、千葉県民大会においては、総合成績4～6位の上位クラスを何年も維持しております。今後、より上位を目指すためにも、各競技団体への強化費等の支援を強くお願いします。</p> <p>このように、柏市のスポーツ振興・発展に寄与し、多大な貢献をしております。</p> <p>これらのことを十二分にご理解いただき、見直しを図り、是非とも補助金の増額を考えていただきたいと思っております。</p>	<p>柏市スポーツ協会に所属する競技団体が、少ない予算の中で本市のスポーツ推進に多大な貢献をいただいていることや県大会等の競技大会において頭書の成績を収めるなどの御活躍をされていることは、事務局としても把握しているところです。</p> <p>こうした状況の中でさらなるスポーツ推進を図るうえで、補助金の増額という御要望をいただくことは理解するところでありますが、財政面での調整が必要となることから、他の交付団体の活動状況等も鑑みながら検討していきたいと考えております。</p>
5	柏市民健康づくり推進員連絡協議会 役員	山本 悦子	議題1	子育て世代にも目を向けていただける案ありがとうございます。	<p>事前に実施したアンケート調査の結果やこれまでの審議会の中での御意見などから、子育て世代は仕事や子育てで多忙になったり、子ども連れでスポーツに関わる教室やイベントに参加しづらいといった理由により、他の世代と比較してスポーツに取り組む時間が低くなるということを認識しています。</p> <p>こうした子育て世代が少しでもスポーツに参加できる機会を作れるよう、子どもを連れていても少しの時間でスポーツ体験ができるようなイベント等の開催に努めてまいります。</p>
6	柏市スポーツ推進委員協議会 会長	吉川 良子	資料1	<p>スポーツの定義のハードルが下がったことにより、これまでの散歩や軽運動（体操やレクリエーション活動）等が加わったことにより成人のスポーツ実施率は上がるものと考えられます。また、基本施策第4章の重点的な取り組みの提唱により、具体的な方向性が示されたのは意義深いと感じられます。</p> <p>今期見直しについて、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中でスポーツ全般については大変厳しい状態にあり、特にスポーツに関心が少なかった方々のスポーツ離れが懸念されます。2025年問題から高齢者の運動の推進は継続して考えて行かなければならないと思っております。</p>	<p>引き続き、市全体のスポーツ推進や市民の健康増進に資する取り組みを続けてまいります。</p> <p>特に、コロナ禍において健康状態を維持するためにはスポーツは欠かせないものと考えております。</p> <p>柏市スポーツ推進委員の皆さまからの御協力を賜る場面も多いと思いますが、引き続きよろしく願いいたします。</p>